



2024年11月27日

各位

MCP アセット・マネジメント株式会社
代表取締役社長 田中徹也

**脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合
(通称: 脱炭素化 VC FOF)の投資実行のお知らせ**

弊社が運営する「脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合」(通称: 脱炭素化 VC FOF、以下、「本 FOFs」)は、第三号投資案件として、株式会社環境エネルギー投資が運営する EEI Booster1 号投資事業有限責任組合(以下、「本ファンド」)に出資コミットメントを行いましたので、お知らせ致します。

【案件の概要】

| | |
|--------------|--------------------------|
| 名称 | EEI Booster1 号投資事業有限責任組合 |
| 出資コミットメント日 | 2024年11月27日 |
| 無限責任組合員(GP) | EEIGP Booster1 号有限責任事業組合 |
| 本 FOFs の出資金額 | 10 億円 |

本ファンドを運営する環境エネルギー投資(<https://ee-investment.jp/>)は、河村修一郎氏が2006年に設立した日本初の環境・エネルギー領域に特化したベンチャー・キャピタル・ファームです。同社は国内外の環境・エネルギー業界に強固なネットワークを構築しており、半歩先を見ながら環境・エネルギー関連の革新的なビジネスモデルやテクノロジーを持つスタートアップに投資し、投資先スタートアップに伴奏して事業成長支援を行っています。

同社は設立以来5ファンドの旗艦ファンドを運営し、特にエネルギー産業の構造転換、モビリティ・輸送、スマートソサエティの3つの領域に注力して投資活動を行っています。本ファンドは、旗艦ファンド2号~4号の投資先企業の中で更なる成長が期待される脱炭素領域を中心とするスタートアップにグロス/レイター・ステージで投資し、それらの事業成長を後押しし、社会にもたらすインパクトとリターンの最大化を企図しています。また、同社は先進的にインパクト評価に取り組んでおり、本ファンドのインパクト・レポートを発行いたします。



本 FOFs は、同社の初の試みである本ファンドの呼び水効果として目標ファンド・サイズに近づこうと直接・間接に募集活動を支援します。また、本 FOFs の豊富なファンド投資経験を活かして、特に機関投資家の観点から様々な助言を行って参ります。

【本 FOFs(脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ投資事業有限責任組合)について】

本 FOFs は、2022 年 12 月に東京都による 60 億円の出資により設立されたファンド・オブ・ファンズです。2050 年ネット・ゼロに向けて気候変動問題解決に取り組むスタートアップ企業を支援するために脱炭素化をテーマとしたベンチャー・キャピタル・ファンド等へ出資を行います。

本ファンドは 3 年間で少なくとも 4 ファンド以上への投資を行い、それらのファンド投資を通じて多様な分野の気候変動問題の解決に貢献する技術・サービスを開発するスタートアップ企業を支援し、グローバル市場で競争力のあるスタートアップ企業を東京から産み出すことを目指します。また、本 FOFs では新たにファンド運営を開始する新興マネージャーの育成・サポートにも力を入れる所存です。本 FOFs は投資先ファンドのマネージャーに対して様々なサポートを行うと同時に、投資先ファンドのマネージャーおよびそれらの投資先企業と協働してインパクトを測定する仕組みを構築し、その達成状況に関して「インパクト・レポート」などの形で情報を発信致します。

(本 FOFs のウェブサイト: <https://www.tokyo-vc-fof.jp/#>)

(お問い合わせ先)

脱炭素化ベンチャー支援ファンド・オブ・ファンズ vci-ops@mcp-am.com

MCP アセット・マネジメント株式会社 (代表)03-3517-8800